

専用機能でさらに快適なツーリングが可能

20Sが一步抜きん出ている同時、接続台数8台が可能なグループインターコム機能。2人で話す「2ウェイ」、3人で話す「3ウェイ」、インターコム機能を発展させ、最大8人で話せる「マルチウェイ」インターコム機能を搭載。これは8台の20Sを順にペアリングして通話するのだが、ペアリングリストをスマホのアプリで管理も可能。さらに、別の複数台インターコム通話機能としてグループインターコム機能も搭載。この機能は、スマホのアプリでグループを作成し、20Sに情報を送信し簡単にグループ通話が可能だ。20Sのボタン操作ひとつで通話を始められる。

20Sにはこのほかにも本体内外部の音を集音する専用のマイクを内蔵するほか、モーションセンサーを搭載し、これらでアンビエントモードやクイックペアリングといった、20S独自の機能が使える。さらに、ハンドルバーリモコンまたは、リストバンドリモコンとBluetoothウースで接続可能。本体のジョグダイヤルだけでなく、ハンドルの手元で20Sを操作できたりと、便利な機能がたくさん盛り込まれている。これらを活用すれば、インターコムを使ったツーリングがさらに快適になるのは間違いない。



スマホで簡単ペアリング

20S向けのアプリ機能

SENA Utilityではグループインターコムのほかにも20Sのさまざまな機能を設定可能だ。20S単体ではジョグダイヤルとフォンボタンで操作する設定メニューを、画面でオン・オフやレベルを見ながら設定できるのはとても便利。また、FMラジオやスピードダイヤルといった数字の入力が必要な機能の設定には欠かせない



スマホの情報を20Sへ送り完了

グループのリストが完成したら左下の「お気に入りグループとして保存」をタップして、いったんスマホに保存する。その上で右下の「ヘッドセットに保存」をタップし、グループのリストをリーダーの20Sに転送して完了

仲間の20Sをチョイス

最初にグループ名を設定する。次にこのグループを管理するリーダーとなる自分自身の20Sの名前を登録する(画面では「インターコム1」)。その後、仲間の20Sをひとつずつ、電源を入れてスマホで認識してグループのリストに登録、という作業を繰り返す

Point_4

グループインターコムの設定方法

グループインターコムはリーダーとなる20Sとペアリングしたスマートフォンに、残り7台の20Sをひとつずつ登録。グループのリストを作り、それをリーダーの20Sに転送することで、グループインターコムを起動すれば8台が順に接続できる。最初にグループのリストを作っておく必要がある。「SENA Utility」は3つのグループリストが作成でき、スマートフォンに保存が可能。ツーリングのメンバーが変わってもリストから呼び出して20Sに転送するだけで、再び利用することができる。アプリのダウンロードはApp storeまたは、google playストアを起動し「SENA」で検索できる。

まずはアプリを起動しグループ設定

スマートフォンアプリ「SENA Utility」を起動。スマホとペアリングした20Sが接続状態であれば、上段の黒いエリアに接続中の20Sの状態が表示される。この画面の左下にある「グループインターコム」をタップして新たに作成する



ジョグダイヤル

ダイヤルの回転とタップの2つの動作で、音量の増減からインターコム通話の開始や設定メニューの呼び出しなど多彩な操作が可能

フォンボタン

スマートフォンなど電話のペアリングと発信に使う。また、内蔵FMラジオの起動やメモリーチャンネルの呼び出しに使う



アンビエントモードボタン

クランプユニットの下面にあるアンビエントモードボタンは、1度押すとボイスコマンド、2度押すとアンビエントモードが作動する

グループペアリングとは



最大で8台の20Sを接続して同時に会話ができるマルチウェイインターカム通話の発展機能。スマホアプリの「セナユーティリティ」を使うことにより、リーダーとなる20Sの1台で、グループ通話の開始、停止、再開とメンバーの管理ができる

Point_2

クイックペアリング



2台の20Sを手で持って振るだけでペアリングできるのが「クイックペアリング」。2台の電源を入れて緑色のLEDが点灯するまで本体を振り、どちらかの20Sのジョグダイヤルをタップすればペアリングは完了

Point_3

ハンドルバーリモコンとも接続可能



最新のファームウェアにバージョンアップすれば、別売のハンドルバーリモコンと接続できる。このリモコンを使えば、ハンドルから手を離すことなく、ジョイスティックと2つのボタンを使って20Sの操作が可能だ

価格:1万6632円 本体サイズ:84.4×550.7×24mm
連続使用時間:3カ月(環境により異なります) 充電時間:約2時間

Point_1

アンビエントモード



20Sには会話用マイクとは別に本体内にマイクを内蔵。アンビエントモードを起動するとこの「もうひとつのマイク」が集音したヘルメットの外の音がスピーカーから流れる。ヘルメットをかぶったままでも周囲の音が聞こえやすく、周りの人との会話もスムーズにできる